

1 はじめに	1
2 研究の概要	
(1) 研究構想図	2
(2) 研究テーマ設定の経緯	3
(3) 研究方法	4
(4) 清瀬小における「指導の個別化」「学習の個性化」「協働的な学び」の捉え	5
3 実践事例・成果	
「実践事例・成果」ページの見方	6・7
(1) 低学年	
①1年 〈課題〉【自分に合った課題（難易度）を選ぶ】国語科「たのしいな ことばあそび」	8
②1年 〈教材〉【自分に合った解決方法（解き方）を選ぶ】算数科「ひきざん」	9
③1年 〈教材〉【自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ】算数科「あわせていくつふえるといくつ」	10
④1年 〈教材〉【自分に合った調べ方を選ぶ】道徳科「いたずらがき（善悪の判断）」	11
⑤2年 〈教材〉【自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ】国語科「ようすをあらわすことば」	12
⑥2年 〈時間〉【自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ】算数科「新しい計算を考えよう」	13
(2) 中学年	
⑦3年 〈教材〉【自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ】算数科「分数を使った大きさの表し方を調べよう」	14
⑧3年 〈時間〉【自分に合った課題を選ぶ】算数科「大きい数の筆算を考えよう」	15
⑨3年 〈教材〉【自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ】算数科「長いものの長さのはかり方と表し方」	16
⑩3年 〈課題〉【自分の考えを視覚的にとらえる】道徳科「きまりじゃないか（規則の尊重）」	17
⑪3年 〈課題〉【自分の動きを視覚的にとらえる】体育科「リレー」	18
⑫4年 〈教材〉【自分に合った調べ方を選ぶ】国語科「秋の楽しみ方」	19
⑬4年 〈課題〉【自分に合った課題を選ぶ】算数科「角の大きさ」	20
⑭4年 〈課題〉【自分の考えを視覚的にとらえる】道徳科「ぼくらだってオーケストラ（友情・信頼）」	21
(3) 高学年	
⑮5年 〈課題〉【自分に合った課題（題材）を選ぶ】国語科「あなたはこう考える」	22
⑯5年 〈教材〉【自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ】理科「ものの溶け方」	23
⑰5年 〈課題〉【自分に合った課題（ゴール）を選ぶ】体育科「心の発達」	24
⑱5年 〈教材〉【自分に合った解決方法（場）を選ぶ】体育科「マット運動」	25
⑲6年 〈課題〉【自分に合った課題（ゴール）を選ぶ】国語科「漢字の広場5」	26
⑳6年 〈教材〉【自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ】国語科「冬のおとずれ」	27
㉑6年 〈教材〉【自分に合った解決方法を選ぶ】体育科「バスケットボール」	28

②6年	〈答え〉【自分に合った表現方法を選ぶ】音楽科「ハンガリー舞曲第5番」	29
②6年	〈課題〉【自分に合った解決方法を選ぶ】図画工作科「心にさく花」	30

(4) 特別支援学級（特学）・特別支援教室（特教）

②4特学1年	〈教材〉【自分に合った解決方法を選ぶ】国語科「平仮名を書いてみよう」	31
②5特学2年	〈課題〉【自分に合った課題（ゴール）を選ぶ】国語科「かたかなで書くことば」	32
②6特学2年	〈教材〉【自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ】国語科「はをへをつかおう」	33
②7特学3年	〈教材〉【自分に合った表現方法を選ぶ】道徳科「とうもろこしができた」	34
②8特学4年	〈課題〉【自分に合った課題（めあて）を選ぶ】自立活動「以心伝心」	35
②9特学5年	〈教材〉【自分に合った解決方法を選ぶ】道徳科「折り紙大使～加瀬三郎～（国際理解）」	36
③0特学4・5・6年	〈教材〉【自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ】体育科「多様な動きをつくる運動」	37
③1特学5・6年	〈教材〉【自分に合った解決方法を選ぶ】算数科「時刻と時間」	38
③2特学5・6年	〈教材〉【自分に合った解決方法を選ぶ】国語科「書写 点とはね」	39
③3特教2・3年	〈課題〉【自分に合った課題（目標）を選ぶ】自立活動「人間ボウリング」	40
③4特教3年	〈教材〉【自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ】自立活動「3学期の目標を書こう」	41
③5特教4年	〈課題〉【自分に合った課題を選ぶ】自立活動「上手に音読しよう」他	42

4 研究の成果

①「学習の個性化」につながる、児童の変容	43・44
②「指導の個別化」につながる、教員のふりかえり	45

5 研究のまとめ

(1)【第1回】研究全体会記録	46
(2)【第2回】研究全体会記録	47・48
(3)【第3回】研究全体会記録	49・50
(4) 研究に携わった教員	51

6 あとがき	51
--------	----

1 はじめに

ガイドブックの作成に当たって

本校の研究は、「校内研究を通してどんなことを学びたいか」、「教師として何を習得したいか」などについて、教職員のニーズ把握を行うことから始めました。多くの意見や考えが多岐にわたり出されましたが、大きくは次の2点に集約されます。

- ① 特別支援教育について、手法やその効果、留意点などをもっと知り実践できるようになりたい。
- ② ICT機器（主にタブレット端末）を活用した授業をバリエーション豊かに、より効果的に進めるようになりたい。

これらは、これからの教育の在り方「令和の日本型学校教育」が示す重要な要素でもあります。そこで「個別最適な学びの具現化」をテーマに、特別支援教育の充実とICT機器の効果的な活用の2つを柱に研究を進め、そのノウハウを日常的に活用できるよう「学習指導ガイドブック」を作成することを研究のゴールに据えました。

研究を進めていくうちに多くのことに気付かされ、考えさせられるようになりました。

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の相関関係や補完させることの重要性
- ・「指導の個別化」のための学習環境づくりや指導者の指導力向上の必要性
- ・「学習の個性化」に対する考え方と「主体的・対話的で深い学び」の本質

挙げ始めるとキリがありませんが、決してHowto的なものを習得すればよいというわけではありませんでした。

実践を重ね、その度に悩み、最適解を模索しながら事例集にまとめました。ガイドブックとしてその機能を果たすような完成度に至ってはおりませんが、視点をもって実践したからこそ感得できたものがたくさんありました。

改訂「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質向上に関する指標」には、教職に必要な素養のひとつとして「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」や「ICTや情報・教育データの利活用」が示されています。本校では、この研究を起点に教師一人一人が個々の教員としての資質を向上させ、学校全体としても体制を強固なものにしたいと考えています。

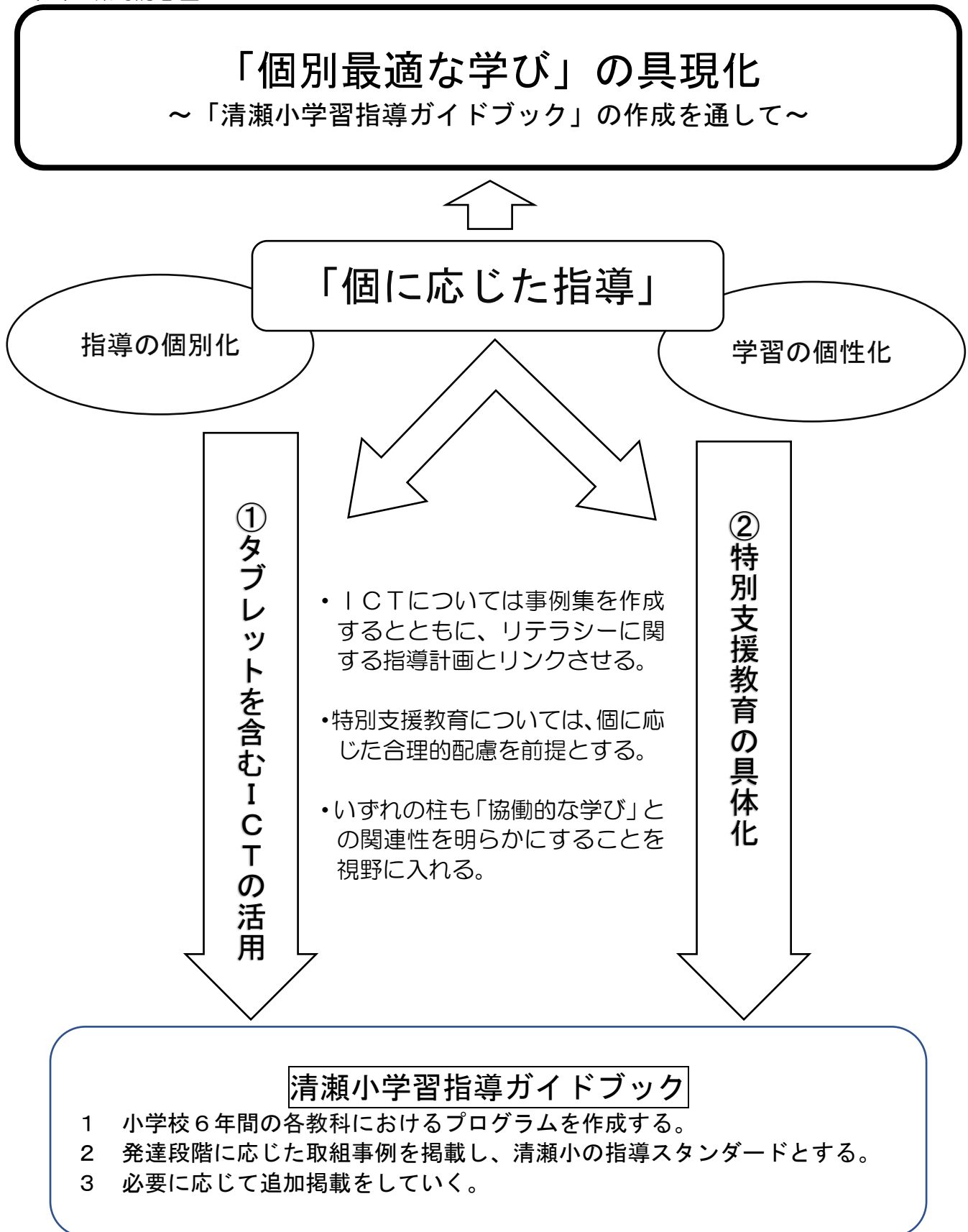
本ガイドブックは観点別に複数の事例を掲載し、どんな手だてを講じたのかが分かるようにしています。全てを網羅できるわけではありませんが、授業づくりの一つのヒントとして捉えていただき活用していただければと思います。本ガイドブックが、多くの先生方にとって素養を培う一助となり、日常の授業改善のきっかけになれば幸甚です。

結びに、研究を進めるに当たり懇切丁寧にご指導いただいた 練馬区教育委員会 指導主事 窪 直樹 先生、練馬区立石神井台小学校 主任教諭 二川佳祐 先生、本校をご担当いただき多くのご支援をいただいた 清瀬市教育委員会 指導主事 柴崎大輔 先生に感謝を申し上げます。

令和5年3月23日 清瀬市立清瀬小学校 校長 谷口雄磨

2 研究の概要

(1) 研究構想図



(2) 研究テーマ設定の経緯

令和4年4月、研究全体会（第1回・第2回）で以下の2点を検討し、研究テーマを設定した。

① 学校・児童の実態

<p>学校の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援が必要な児童 ※学年が上がるにつれて増加。 ・特別支援学級（ひばり） ・特別支援教室（きらり） ・専科 ・コグトレ（認知機能を伸ばすトレーニング・週2日） 	<p>児童の実態（R4年1月 ベーシックドリル結果）</p> <p>学年・学年平均正答率・50%未満児童数/集計児童数</p> <p>2年・87%・0/28</p> <p>3年・83%・5/82</p> <p>4年・77%・4/91</p> <p>5年・70%・11/98</p> <p>6年・67%・12/99</p> <p>計 32/398 ※R4 通常級637名・特別支援学級50名</p>
---	--

- ・「個に応じた指導」の充実させる必要がある。
- ・特別支援学級・特別支援教室と通常学級との交流を、児童も教員もできるようにしたい。

② 教師の意識

①R4年度の研究について
27件の回答

Research Theme	Percentage
教科を決めない研究テーマ	63%
算数 (R3継続)	25.9%
国語	11.1%

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	テーマ						
3	自分の考えを表現して伝える						
4	通常級で行える特別支援・学び合いの方法・児童が自分で適切なめあてを立てられる力をつける指導・など						
5	合理的配慮を考えたユニバーサルデザインな授業づくり						
6	ユニバーサルデザイン						
7	テーマは昨年度と同じでいいと思います。						
8							
9	主体的に取り組む姿勢を育む活動を生かした授業						
10	全員が意欲的に取り組める授業作り（編み込んで言ってしまう、お客さんを作らないような授業）						
11	基礎基本の定着と表現力						
12	支援が必要な児童への指導方法について						
13	課題解決に向けて、粘り強く考える子の育成						
14							
15	効果的な学び合い 教科、学年に応じて						
16	特別支援						
17	表現力を高める						
18							
19	ICTの活用方法について						
20	授業の中で学級を持っていく方法						
21	児童の実態に即した指導方法（実態把握、指導内容、指導計画）						
22	タブレットの活用						
23	ICTの活用						
24	学習態度の定着、生活力の向上						
25	個別最適な学びの実現～個別支援から～						
26	児童が「やってみたい、聞いてみたい」と思う導入の工夫						

- ・どの学年、どの教科でも取り組めるような研究テーマにしたい。（自由記述から）
- ・ICT、タブレットの活用の仕方を学びたい。
- ・課題のある児童への支援の仕方を学びたい。

「個別最適な学び」の具現化
～「清瀬小学習指導ガイドブック」の作成を通して～

(3) 研究方法

① 児童の意識調査（6月・2月）

年2回の調査により、「個別最適な学び」に関わる児童の変容を検証した。
 ※本書3（5）①「学習の個性化」につながる、児童の変容（43ページ）参照

② 教科、テーマ別の教師グループ

特別支援チーム・ICT活用チームの2チーム。

各チームを教科ごとに分けた全10グループをつくり、「日常的な授業の参観」「手だての効果検証と児童の変容の記録」を年間通して行った。

ICT活用チーム				特別支援チーム			
各グループ							
国語	算数	体育 音楽 図工	道徳	国語	算数 理科	体育 音楽 図工	道徳
○藤丸4 横田き 佐々木(真)1 田代ひ5	○小野寺3 飛弾2 本宮2	○松本(杏)図 田中6 眞下5 今井音 金3 永井ひ4	○白石5 ○鈴木ひ 東川ひ 天野1 尾山3	○杉岡き ○古館6 松本(恵)6 北林ひ2 氷室ひ1	○豊田1 村野1 富田2 半田3 寺嶋4 村越理 佐々木(美)算	水戸5 石場き 山下養 藤崎養	○宮脇ひ4 福嶋ひ6 坂下ひ23 今村4

③ 年3回の研究授業

【第1回】特別支援学級の実践から「個別最適な学び」について共通理解

日時：令和4年6月15日

講師：本校 主幹教諭 福嶋 誠先生

授業：特別支援学級 自立活動（情緒4年）・体育（知的4～6年）

【第2回】ICT活用が「個別最適な学び」につながっていたか検証

日時：令和4年10月13日

講師：練馬区立石神井台小学校 主任教諭 二川 佳祐先生

授業：国語（4年）・算数（2年）・道徳（知的3年）

【第3回】「特別支援教育」が「個別最適な学び」につながっていたか検証

日時：令和4年11月30日

講師：練馬区教育委員会 指導主事 窪 直樹先生

授業：国語（6年）・算数（1年）・理科（5年）・道徳（4年）

・自立活動（特別支援教室2～3年）

④ 「清瀬小学校学習指導ガイドブック」（本書）の作成

研究の成果をガイドブックとしてクロームブックにデータ保存し、活用と実践事例の更新をできるようにした。

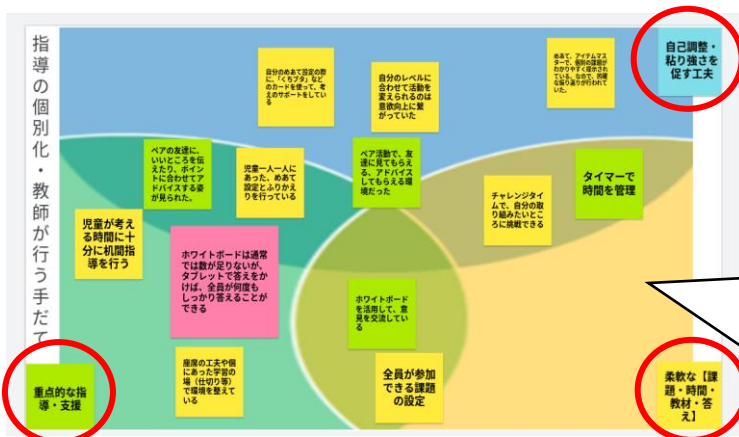
(4) 清瀬小における「指導の個別化」・「学習の個性化」・「協働的な学び」の捉え

① 「指導の個別化」

指導の個別化

- ・基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、**自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等**を育成するため、
- ・支援が必要な子供により**重点的な指導**を行うことなど効果的な指導を実現
- ・**特性や学習進度等に応じ**、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う

第1回研究全体会講師資料



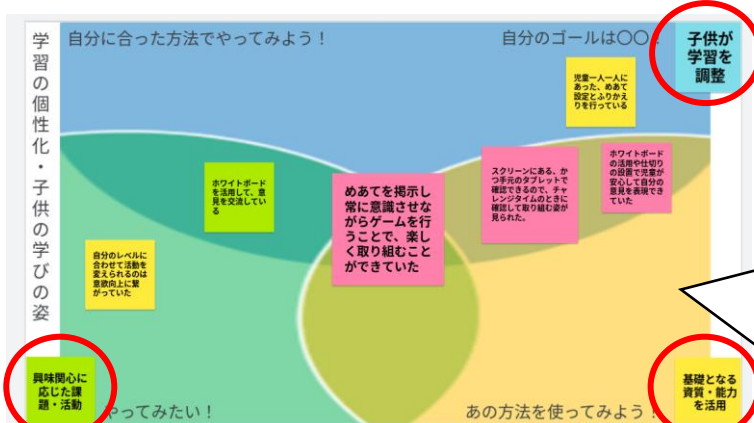
教師が行う手だてを3つの視点で整理し、授業を計画した。
本ガイドブックでは、視点の中から、自力解決場面における「柔軟な課題・時間・教材・答え」の手だてに焦点を当ててまとめた。

② 「学習の個性化」

学習の個性化

- ・基礎的・基本的な知識・技能等や情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、
- ・子供の興味・関心等に応じ、**一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供**することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する。

第1回研究全体会講師資料



児童の学びの姿を3つの視点で整理し、授業の検証を行った。
本ガイドブックでは、児童が主体となった、「個別最適な学び」の姿をタイトルにして、各実践事例をまとめている。

③ 「協働的な学び」

個別最適な学び

成果を生かす

還元する

協働的な学び

① 柔軟な課題

② 自分にあったレベルを選ぶ

③ ・児童が自分に合ったレベルを選択することで、すすんで課題に取り組むことができる。

④ ㊦できそうなレベルを選ぼう。
㊧できそうであれば、他のレベルにチャレンジしよう。

⑤ ジャムボードに入してみよう㊨・㊩

⑥

⑦

⑧

▷学年・教科・単元
第1学年
国語科「たのしいな ことばあそび」

▷教材
・タブレット（ジャムボード）

▷1時間の流れ（☆自力解決場面）
①めあてを立てる
②自分ができそうなレベルを選ぶ・・・㊨
レベル1・2・3から児童が個々に選ぶ
③段階的にチャレンジする・・・㊧
④学級で意見を交流する
⑤クラス全体でまとめ、個人で振り返る

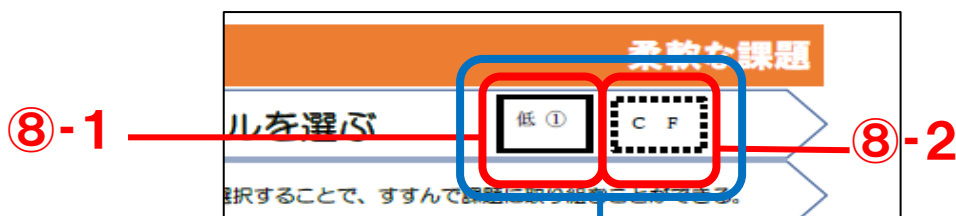
▷配慮事項
教科書に載っている知識は全体で確認する。
1年生はジャムボードの扱いに慣れていないため、丁寧に指導する。楽しんで言葉遊びを行えるように、児童の意見は極力認め、豊かな発想を促す。

▷協働的な学び
ジャムボードを使うことで、友達の考えを参考にしながら、自分の考えを深めることができる。

-6-

①	課題・教材・時間・内容の中から1つ選択。
②	「子供」を主語にし、個別最適な学びのために取った手だて。
③	④の手だてにより得られると思われる児童の姿。
②	③の手だてについて、実際に授業の中で教師が行った言葉かけ。
⑤	④の言葉かけにより得られた児童の実際の姿。
⑥	本時の具体的な流れ。特に自力解決場面を☆印で記載。 ④の教師の言葉かけが実際に行われた場面を㊨等で記載
⑦	協働的な学びの場面を確保できた場合は記載。

研究成果との関連



⑧ - 1

○「学習の個性化」につながる「児童の変容」

①	自分にあった方法や学びたい方法で学習することができた
②	学習が難しいとき、別の方法を考えて学習を進められた。
③	自分にあった方法で、調べたことをまとめることができた。
④	自分が伝えやすい方法で、調べたことを発表することができた。
	例) 低① (P8) 低学年において「自分にあった方法や学びたい方法で学習することができた」という成果が得られた。

クリックすると枠内記号の詳細説明ページが見られます。

⑧ - 2

○「指導の個別化」につながる「教師のふりかえり」

A	学習の課題に合わせて、ヒントカードの使い方が選べるのっていいよね！！
B	みんながわかるような板書の工夫（具体物や写真、文字）ができるといいよね！
C	子供が選べる選択肢を増やすことが大事だね！！ 子供が自己理解して選択肢を選ぶことが難しいときもあるな～
D	上の学年に上がった時にできるといいよね！！
E	子供が習熟度に合わせて選ぶ経験を重ねることで、だんだん自分に合った方法が身につくそうだ！！これって自己調整につながるね！！
F	必要に応じてICTを使うといいんだね！！
G	魔法の言葉「～してもいいよ。」を使っていこう！！
H	学びのバイキング方式を授業に取り入れていけるといいね！！
I	単元全体を見通して子供が選択肢を用意し、その中からバリエーションの精選をできるようにしたい！！
J	子供にハンドルを渡す瞬間を用意できるといいね！！
K	事前に子供の学びの躰きを把握しておくことが大事だね！！
L	実態把握が大切だよね！！
M	振り返りを充実させ、自己の到達状況を把握できるように指導するといいと思う！！
N	そのためには、繰り返しの言葉がけが大切になってくるよね！！
O	経験の貯金は大切だ！
	例) C・F 上記CとFの成果が教員の実感として得られた。

自分にあった課題（難易度）を選ぶ

低①

C F

・児童が自分に合ったレベルを選択することで、すすんで課題に取り組むことができる。

- ㊦ できそうなレベルを選ぼう。
 ㊧ できそうであれば、他のレベルにチャレンジしよう。

ジャムボードに
入力してみよう㊦・㊧



▷ 学年・教科・単元
 第1学年
 国語科「たのしいな ことばあそび」

▷ 教材
 ・タブレット（ジャムボード）



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる

②自分ができそうなレベルを選ぶ・・・㊦

レベル1・2・3から児童が個々に選ぶ

③段階的にチャレンジする・・・㊧

④学級で意見を交流する

⑤クラス全体でまとめ、個人で振り返る



▷ 配慮事項

教科書に載っている知識は全体で確認する。
 1年生はジャムボードの扱いに慣れていないため、丁寧に指導する。楽しんで言葉遊びを行えるように、児童の意見は極力認め、豊かな発想を促す。

▷ 協働的な学び

ジャムボードを使うことで、友達の考えを参考にしながら、自分の考えを深めることができる。



自分に合った解決方法（解き方）を選ぶ

低①

B C

- ・児童が自分に合った解決方法を選択することで、すすんで課題に取り組むことができる。

- ㊦ どの方法で答えを出すか考えよう。
 ㊧ 説明の仕方を選ぼう。

ブロックを使って
 考えてみようかな。㊦



▷ 学年・教科・単元

第1学年

算数科「ひきざん」

▷ 教材

- ・算数科の教科書
- ・ノート
- ・ブロック
- ・ブロック図をかいたワークシート

▷ 1 時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる

②答えの出し方を考える。（☆）・・・㊦

- ・ブロック操作
- ・ブロック図

③説明の仕方を考える（☆）・・・㊧

- 自分でブロック図をかき、説明を加える。
ワークシートに書き込む。
- ブロック操作のみ。

④学び合い

⑤まとめ

⑥練習問題

⑦振り返り

▷ 配慮事項

ブロックケースを使うことにより、10のまとまりを意識させる。

▷ 協働的な学び

ラウンドタイムで友だちの意見を聞くことにより、練習問題の言葉の説明に自信をもつことができる。



自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ

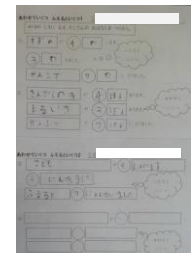
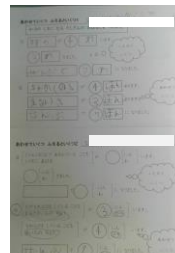
低①

B C

- ・児童が自分に合ったワークシートを選んで自力解決に取り組むことができる。

- ア 今日の手帳を読もう。
イ どのプリントで考えよう。

① ヒントが多い方で考えようか



▷ 学年・教科・単元

第1学年

算数科「あわせていくつ ふえるといくつ」

▷ 教材

- ・ワークシート
- ・教科書の拡大写真（掲示用）
- ・算数ブロック



▷ 1 時間の流れ（☆自力解決場面）

- ① 絵を見てどんな場面か話し合う。
- ② 本時の課題を知り、 $4+3$ のお話をつくる。（☆）…①
どのワークシートで考えるかを選ぶ。
- ③ つくったお話を発表する。
- ④ ふりかえりをする。

▷ 配慮事項

お話作りは今回が初めてである。いきなり式を見て話を作るのは困難なので、上段の例を参考に考えさせるとよい。

▷ 協働的な学び

「今、友達が発表したことの続きを言える人いますか。」と発問し、発表をリレー形式にすることで協働的な学びの場を設定した。



自分に合った調べ方を選ぶ

低①

D F

- ・児童が自分に合った表現方法を選択することで、学習する姿勢を維持することができる。
- ・自分の考えを、多様な方法で表現できるようにすることで、表現しやすい環境を整える。

㊦ 自分の考えを表そう。

㊧ 考えた意見を、友達に発表しよう



▷学年・教科・単元

第1学年

道徳科 「いたずらがき」
善悪の判断

▷教材

- ・タブレット
- ・ワークシート
- ・道徳科の教科書
- ・canva



自分の考えを表そう㊦



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①「きまり」について考えることを意識させる。

②題材を聞く。

③悩む登場人物にどのように声を掛けるか
考える。（☆）・・・㊦キャンバで、自分の名前の付箋に自分の考え
を書く。

④意見の違う友達と、意見交換をする。（☆）・・・

㊧

キャンバを見ながら、それぞれの考えの理由
を聞く。

⑤ふりかえる。

▷配慮事項

操作マナー（友達の意見や名前を勝手に動かさないこと）を指導してから作業を行わせる。

▷協働的な学び

友達の意見や考えが見えることをきっかけにして、話し合いや意見交換を行い、自分の考えを深める。



自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ

低①

C E

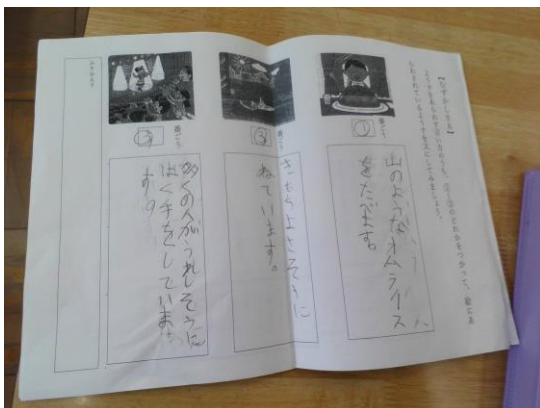
- ・児童が自分に合った方法で、自力解決に取り組むことができる。
- ・多様な考え方をした友達と情報交換を行うことにより、多様な視点や知識を得ることができる

- ア 今日自分の課題を決めよう
イ 課題を達成するために自分に合った方法を選びよう



- ▷ 学年・教科・単元
第2学年
国語科「ようすをあらわすことば」

- ▷ 教材
・ワークシート
・国語科の教科書
・「ようすをあらわすことば」カード



自分が決めた方法のワークシートにチャレンジしてみよう。



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる

⑤今日のゴールを決める

むずかしさ A・B・C から児童が個々に選ぶ。

③考える

自分が選んだ問題にチャレンジする。

できた児童は他の問題にチャレンジしてよい。

④作った文を友達と紹介し合う。

⑤クラス全体でまとめ、個人で振り返る。

▷ 配慮事項

- ・教科書に載っている例は全体で確認する。
- ・それぞれの文の①どのくらい、量②言葉の響き、音③例えについては、児童に選択させる。

▷ 協働的な学び

自分とは違う言葉で考えた友達と、互いに伝え合うとともに、自分の考えについての意見をもらう。



自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ

低①

A F

- かけ算の式を表す際、タブレットの中に共有されている自分の進度に合ったヒントカードを選ぶことで、児童一人一人が課題に向き合うことができる。
- お互いの考えを共有しあう時間（ラウンドタイム）をとることで、多様な視点や知識を得ることができる。

- ㊦場面絵を見て、かけ算の式にあらわそう。
 ㊧「ラウンドタイム」で友達と考えを伝え合おう。



▷学年・教科・単元

第2学年

算数科「新しい計算を考えよう」

▷教材

- 算数科の教科書
- タブレット（ヒントカード）
- ホワイトボード
- ワークシート

ヒント③

1つ分 × いくつ分 = ぜんぶの数



6



2



ヒントカードを使おう㊦



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる

②「1つ分の数」と「いくつ分」を確認する

これまでに見つけたかけ算の式を振り返る。

③かけ算の式にあらわす（☆）・・・㊦

タブレットの中に共有されている自分の進度に合ったヒントカードを選び、式に表す。

④友達の考えを共有しあう（☆）・・・㊧

お互いの考えを共有しあう時間（ラウンドタイム）をとり、考えを深める。

▷配慮事項

「1つ分の数」と「いくつ分」を全体で確認する。

▷協働的な学び

お互いの考えを共有しあう時間（ラウンドタイム）をとる。



自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ

低①②

B E

- ・分からないところを自分自身で見つけ、ヒントを基に自力解決に取り組むことができる。
- ・児童を前に集めることにより、自分だけが分からない訳でない自信をつけることができる。

- ㊦習ったことを使って今日の問題を解こう。
- ㊩練習問題に取り組もう。

今日の内容、本当に分かった

かな・・・㊩



▷学年・教科・単元

第3学年

算数「分数を使った大きさの表し方を調べよう」

▷教材

- ・タブレット
- ・算数科の教科書
- ・紙テープ
- ・ワークシート



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①問題を知る

②めあてを立てる

③☆自力解決

- ・1より大きい分数の表し方を考える。
- ・分からない人はヒントをもとに自分の考えを書く。

④学び合い

友達のを聞いて理解を深める。

⑤まとめ

⑥振り返り

⑦タブレットで練習問題・・・㊩

▷配慮事項

- ・ポイントとなる場所に赤で印をつけて見やすくする。
- ・ワークシートで分数のかき方を覚える。

▷協働的な学び

紙テープを使って分数を表すことで視覚的に分かるようにする。



自分に合った課題を選ぶ

低①

F

- ・児童が自分で数字を操作することで、一人一人が課題に向き合うことができる。
- ・友達が作った問題を解き、その場で答え合わせができることで、自分のペースで問題に取り組むことができる。

㊦ カードを操作し、問題を作ろう。

㊩ 友達の問題を解き合おう。

問題を作ったら、たくさん問題を解きたいな。㊦・㊩



▷ 学年・教科・単元

第3学年

算数科「大きい数の筆算を考えよう」

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる

②大きい数の筆算の仕方を確認する

問題作りの方法を知ると共に、前時の復習を行う。

③問題作り（☆）・・・㊦

ジャムボード内にカードを用意し、カードを動かすことで簡単に問題が作成できる。答えは次のシートに書いておく。

④友達の問題を解き合う（☆）・・・㊩

友達の問題をノートに解き、その場で答え合わせを行う。終わったら、別の友達の問題にどんどん取り組む。

▷ 教材

- ・算数科の教科書
- ・タブレット（ジャムボード）



▷ 配慮事項

問題作りの方法を全体で確認する。

▷ 協働的な学び

友達が作った問題を解いたり、一緒に考えたりする。

0	5	4けたの数を2つ作ろう			
1	6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	8	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	9				



自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ

低②

A C

- ・児童が自分に合った方法や課題に沿って、自力解決に取り組むことができる。
- ・友達と考えの共有を行うことにより、多様な視点や知識を得ることができる

- ア) どのヒントカードを使えば解けるかな。
イ) 自分ができそうな練習問題を選ぼう。

この問題やってみよう！ア



▷ 学年・教科・単元

第3学年

算数科「長いものの長さのはかり方と表し方」

▷ 教材

- ・算数科の教科書
- ・ノート
- ・ホワイトボード
- ・ワークシート
- ・ヒントカード



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

①問題を確認する

②めあてを立てる

③自分の考えをノートに書く。（☆）…ア

必要があればヒントカードを用いながら、自分の考えを書く。

④自分の考えを共有する。（ラウンドタイム）

⑤全体で共有する。

⑥練習問題に取り組む。（☆）…イ

自分に合った練習問題を選んで取り組む。

▷ 配慮事項

自分でヒントカードや練習問題を選択するのが難しい場合は、個別指導をして児童に合ったものを選択できるようにする。

▷ 協働的な学び

ラウンドタイムを設け、多様な考え方に触れられるようにする。



自分の考えを視覚的にとらえる

低①

B E

- ・自分の考えを視覚的にとらえることにより、自分の考えを明確にすることができる。
- ・友だちの意見を聞くことで、自分の考えを深めることができる。

- ㊦ 自分の考えをもちましよう。
- ㊩ 友達と考えを共有し、自分の考えを深めよう。

なんでそういう考えにしたの？㊩



▷ 学年・教科・単元

第3学年

道徳科 「きまりじゃないか」
規則の尊重

▷ 教材

- ・タブレット
- ・道徳科の教科書
- ・ワークシート
- ・シャムボード



▷ 1時間の流れ (☆自力解決場面)

- ①「きまり」について考えることを意識させる。
- ②題材を聞く。
- ③同じような状況だったら、自分ならどうするかを考える。(☆)・・・㊦

ジャムボードで、自分の名前の付箋を、自分の考えにあった場所に移動させる。

- ④意見の違う友達と、意見交換をする。(☆)・・・㊩

ジャムボードを見ながら、それぞれの考えの理由を聞く。

- ⑤ふりかえる。



▷ 配慮事項

操作マナー（友達の意見や名前を勝手に動かさないこと）を指導してからジャムボードの作業を行わせる。

▷ 協働的な学び

自分と違う考えの友達の意見を聞き、自分の考えを深める。



自分の動きを視覚的にとらえる

低①

J M

- ・自分のフォームを動画で確認することで、改善したい場面を意識づけることができる。
- ・チームごとに動画を見ることで、改善点を共有することができる。

- ㊦ チームの課題に合った練習をしよう。
- ㊧ 美しいバトンパスができるようになるために、動画を確認してよりよくしよう。

タブレットで撮影しよう㊧



▷ 学年・教科・単元

第3学年

体育科「リレー」

▷ 教材

- ・タブレット（カメラ）
- ・バトン
- ・ビブス
- ・ホワイトボード



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ① 準備運動
- ② めあてを提示する
- ③ チームごとに動画を撮影する（☆）・・・㊧
- ④ 動画を確認して課題を話し合い、練習する・・・㊦
- ⑤ 周回リレーをする
- ⑥ 全体で気を付けたところを共有する
- ⑦ 振り返り
- ⑧ 整理運動、片付け

▷ 配慮事項

美しいバトンパスのイメージが具体的にできるように「丁度よいタイミングで走り出す」「手のひらを上に向けてバトンを受け取る」等ポイントを示す。

▷ 協働的な学び

他のチームの様子を見る時間を確保する。



自分に合った調べ方を選ぶ

高①

E H

- ・児童が自分に合った方法や興味に沿って、自力解決に取り組むことができる。
- ・多様な調べ方をした友達と情報交換を行うことにより、多様な視点や知識を知ることができる。

㊦ゴールを達成するために、自分に合った方法を選びましょう。

今日のめあて

秋の行事を表す言葉を集めて、私にとっての秋の行事をきめよう。

<自分が目指したいゴール>

3つのゴールのうち、自分が目指したいレベルを1つ決めて○を付けよう。

レベル	ビギナー	チャレンジャー	マスター
★1 調べる まとめる	友達や先生にヒントをもらいながら、必要な情報を調べ、まとめることができる。	たまに友達や先生にヒントをもらい、必要な情報を調べ、まとめることができる。	2つ以上の資料から必要な情報を調べ、まとめることができる。
★2 伝える	まとめたことを、そのまま読んで伝えることができる。	まとめたことと、自分の考えを伝えることができる。	まとめたことと、自分の考えとその理由を伝えることができる。

教科書やタブレットで調べよう…①



▷ 1時間の流れ (☆自力解決場面)

①めあてをたてる。

②「今日のゴール」を決める。… (ア)

3つのレベルから児童が個々に選ぶ。

③調べる (☆) … (イ)

④少人数で調べたことを伝え合う。

⑤全体でまとめ、個人で振り返る。

▷ 配慮事項

- ・教科書に記載の知識は全体で確認する。
- ・45分間で調べる、伝え合う、まとめることが困難な場合、2時間単位など単元全体を見通した柔軟な授業展開とする。

▷ 協働的な学び

自分とは違う方法で調べた友達と、調べたことを伝え合い、ワークシートに書き加える。

▷ 学年・教科・単元・学年

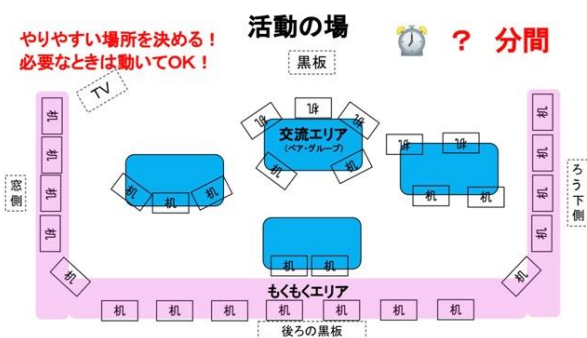
第4学年 国語科「秋の楽しみ」

▷ 教材

- ・タブレット (検索サイト)
- ・国語科の教科書、国語辞典
- ・ワークシート

▷ 場の工夫

- ・自分に合った場を選ぶ。
- ・途中で場所を変える、行き来できる。



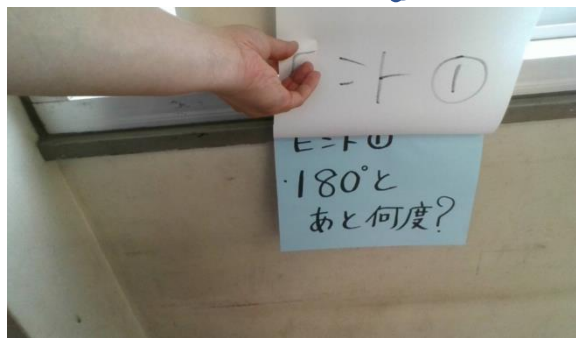
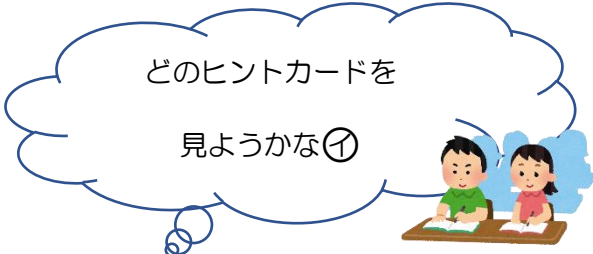
自分に合った課題を選ぶ

高②

A G

- ・児童が自分に合っためあてを選択することで、主体的に課題に取り組むことができる。
- ・段階別の支援を準備することで、児童が自力解決できる。

- ㊦ 自分にあっためあてをたてよう。
- ㊩ 自力解決に必要なヒントを自分で選ぼう。



▷学年・教科・単元
第4学年
算数科「角の大きさ」

- ▷教材
- ・算数科の教科書
 - ・ノート
 - ・ヒントカード
 - ・掲示用の拡大した図形

▷配慮事項

- ・めあては、基本と発展とを準備しておく。
- ・ヒントカードは段階を踏んでみるように確認する。

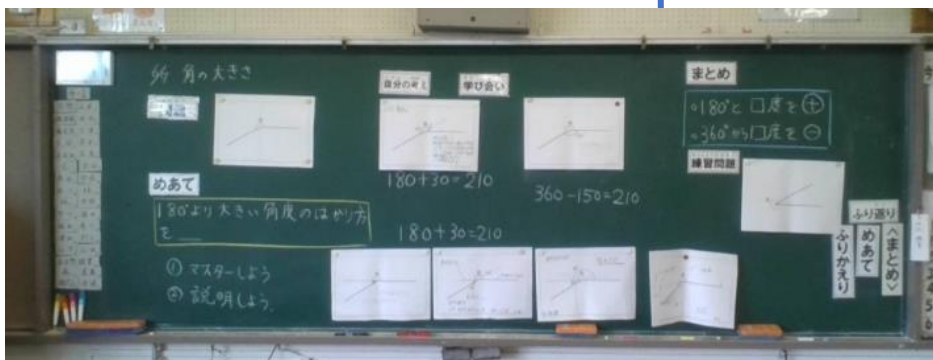
▷1時間の流れ (☆自力解決場面)

- ①問題を知る
- ②自分に合っためあてを立てる・・・㊦
できるようになる・説明することができるから児童が個々に選ぶ。
- ☆③自力解決・・・㊩
段階に応じたヒントを選んで参考にすることができる。(3段階)
- ④学びあい
- ⑤まとめ
- ⑥練習問題
- ⑦ふり返り



▷協働的な学び

児童の考えは、拡大した図形に書き込むことで共有し、ふりかえられるようにする。



自分の考えを視覚的にとらえる

高④

B E

- ・児童が自分の考えを分かりやすく表現することができる。
- ・友達と考えを交換しながら、多様な考え方を知ることができる。

- ㊦ 主人公のそれぞれの時の気持ちを想像しよう。
- ㊧ なぜ、主人公の気持ちが変わったのか考えよう。

主人公の気持ちを
「心メーター」で表す



▷ 学年・教科・単元

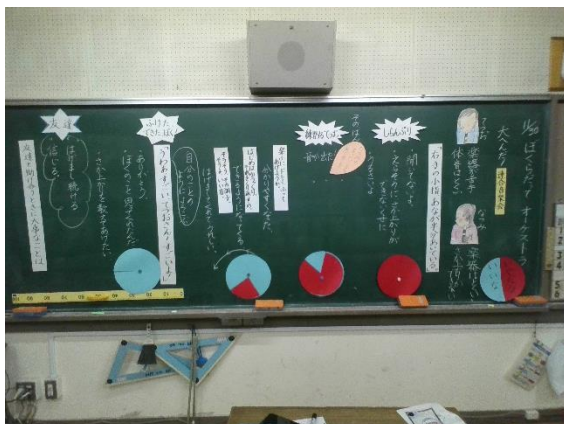
第4学年

道徳科「友情、信頼

ぼくらだってオーケストラ」

▷ 教材

- ・道徳科の教科書
- ・心メーター
- ・ワークシート



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ① 友達のよさについて考える
- ② 教科書のCDを聞く
- ③ ☆話の内容を振り返りながら、主人公の気持ちを心メーターで表現する。
- ④ 心メーターで表した主人公の気持ちをグループで話し合う。
- ⑤ ☆主人公の気持ちの変容を振り返り、その理由を考える。
- ⑥ クラス全体でまとめ、個人で振り返る。

▷ 配慮事項

時代背景など分かりにくい事項について全体的に説明し、理解させる。

▷ 協働的な学び

主人公の思ったことをグループで話し合うことにより具体的に表現できるようにさせる。



自分に合った課題（題材）を選ぶ

高①

C M

- 意見文の題材と読んでもらう相手を自分で設定することにより目的意識を明確にもつことができる。
- 自分の選んだ相手によって一人一人が書き方をそれぞれに工夫し、説得力のある意見文を書こうとすることができる。

㊦ 自分の相手が納得する意見文になるよう工夫しよう。

① 友達と意見文を読み合いよりよくしよう。



① 構成メモを見てみよう。



▷ 学年・教科・単元

第5学年

国語科「あなたはこう考える」

▷ 教材

- 国語科の教科書
- タブレット
GoogleJamboard
Padret
- 原稿用紙

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

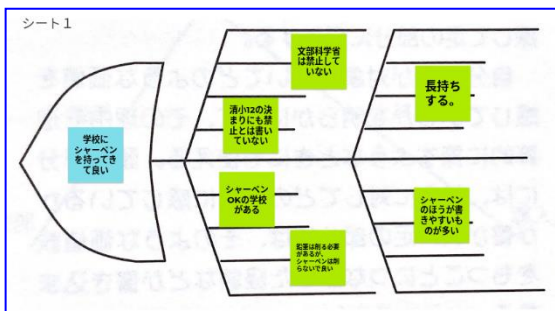
- ①めあてを確かめる
- ②3人1組になり1人が音読する
- ③左右の2人が構成メモを見ながらアドバイスする。・・・①
- ④アドバイスをもとに書き直す（☆）・・・㊦

▷ 配慮事項

下書きの段階で困っていることなどを、読んでもらう児童が主体的に相談するよう声かけする

▷ 協働的な学び

振り返りを、Padretを使って全員が閲覧できるようにし、同じ課題や進捗の近い児童と相談し合えるようにする。



自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ

高①

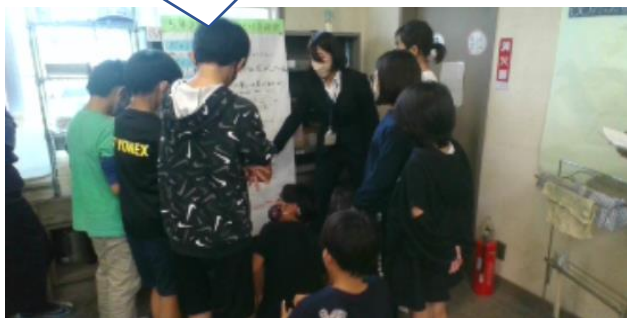
B E M

- ・児童が自分に合った方法で自力解決に取り組むことができる。
- ・自分の考えをもって主体的に実験に取り組み、理科への関心を高めることができる。

㊦ 自分の考えを今すぐ書けそうな人はパー、ちょっと自信ない人はチョキ、全然わからない人はグーを出そう。

㊩ 今回の実験結果と関係があるのは、今までの学習の中のどれだろう。

どの学習と関係があるのかな。



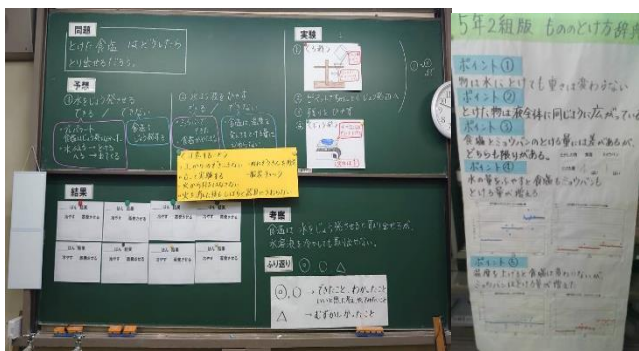
▷学年・教科・単元

第5学年

理科「ものの溶け方」

▷教材

- ・ノート
- ・ワークシート
- ・実験器具
- ・単元の学習をまとめたポスター



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①問題を立てる

②予想を立てる（☆）・・・㊦

ノートやポスターを見たり、教師の支援を受けたりすることで、根拠のある予想を発想する。

③実験

④結果

⑤考察（☆）・・・㊩

他の人の予想やポスター、過去のノートを参考にして、実験結果を基に考察する。

⑥振り返り

▷配慮事項

毎授業の最後に、その日の学習のポイントを児童の言葉でポスターにまとめておくことで、5つの選択肢から自分の考えの参考になるものを選ぶようにする。

▷協働的な学び

自分の予想を班の友達と伝え合うことで自分の考えを深める。



自分に合った課題（ゴール）を選ぶ

高③

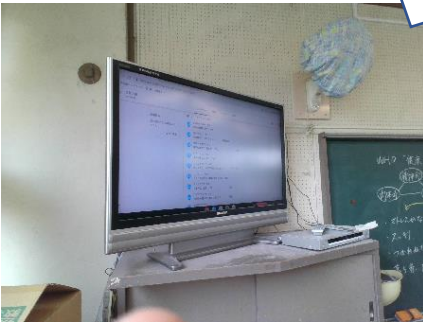
F G

- 友達の考えや経験をもとに、自分に合った心の成長方法を考えることができる。
- 友達との交流を通して、多様な視点や考えを得ることができる。

② ワークシートに自由に書こう。

① 友達の考えや経験を知り、自分に合った方法を考えよう。

クラスルームのストリー
ームを見てみよう。①



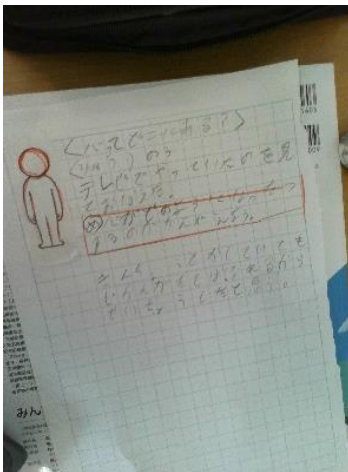
▷ 学年・教科・単元

第5学年

体育科（保健）「心の発達」

▷ 教材

- タブレット（クラスルーム）
- 保健の教科書
- 体育ノート
- ワークシート



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

① 今日のテーマを把握する…②

心は身体のどこにあるのかワークシートに絵や文字などで自由に表現してみる。

② めあてを立てる

③ 調べる

④ 友達の考えを知り、深める（☆）…①

クラスルームのストリームを通して、事前に書いてもらった考えを知り、自分の考えを深める。

⑤ 少人数で伝え合う

⑥ クラス全体でまとめ、個人で振り返る

▷ 配慮事項

- 心の発達の仕方は人それぞれのため、多くの考えを許容し、受け入れることを確認する。

▷ 協働的な学び

自分とは違う考えや経験について、伝え合いワークシートに書き加える。



自分に合った解決方法（場）を選ぶ

高①

C G

- 自己の能力に適した場で練習をし、技能を高めることができる。
- 一単位時間でのめあてが明確になり、成功体験へとつながる。

- ㊦できるようにになりたい技を考えて場を選ぼう。
- ㊦自分の課題に合わせて、道具を活用しよう。

マーカーを置いて、勢いをつけられるようにしよう。㊦



▷学年・教科・単元

第5学年

体育科「器械運動（マット運動）」

▷教材

- タブレット（動画撮影、ポイント確認）
- マット
- ミニマーカー
- 踏切板
- ホワイトボード
- ノート



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ①準備運動
- ②場の準備
- ③めあてを立てる・・・㊦
- ④主運動☆・・・㊦
- ⑤振り返り
- ⑥整理運動、片付け

▷配慮事項

場の数が増えるため、運動のきまりを明確に示す。技のポイントを示す時間を設け、集中して運動に取り組むようにする。

▷協働的な学び

同じ場を選んだ友だちと互いに見合い、アドバイスをする。



自分に合った課題（ゴール）を選ぶ

- ・児童が自分に合ったゴールを選択することで、自力解決に取り組むことができる。
- ・友達と交流することで、多様な考え方を得ることができる。

- ア 今日自分のゴールを決めよう。
 イ ゴールを達成するために、自分に合った方法を選ぼう。

ヒントカードを見て
 みようかな。①



▷学年・教科・単元

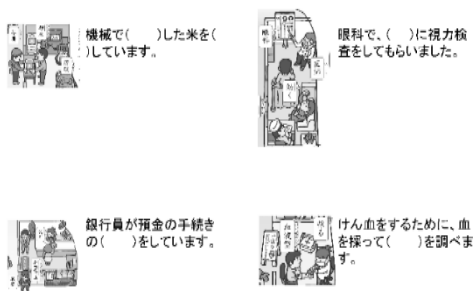
第6学年

国語科「漢字の広場⑤」

▷教材

- ・タブレット
- ・国語科の教科書
- ・ワークシート
- ・ヒントカード（タブレットのクラスルームにPDFで記載）
- ・Jamボード

・ヒントカード



高①

A E

▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ①めあてを立てる
- ②今日のゴールを決める・・・ア
- ③漢字を使って文章を書く（☆）・・・イ
- ④Jamボードに書き交流し、修正する
- ⑤学習のふり返り

▷配慮事項

- ・使い方が難しい熟語は、全体で確認する。
- ・最初にヒントカードを確認し、ヒントカードの良さを実感する機会を作ると良い。

▷協働的な学び

- ・考えた文章をJamボードで交流し、見合うことで、修正点や良さを見付ける。



自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ

高①

A G L

- ・児童がそれぞれ知っている言葉を書き出すことにより、多様な言葉を得ることができる。
- ・自分に合ったものを選択し、自力解決に取り組むことができる。

- ②知っている言葉をタブレットに打ち込もう。
①ゴールを達成するために、参考にするものを選ぼう。



▷学年・教科・単元

第6学年

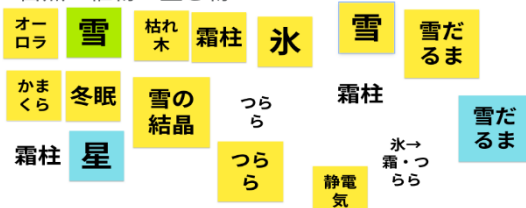
国語科「冬のおとずれ」

▷教材

- ・国語科の教科書
- ・季語集
- ・タブレット（ジャムボード）
- ・ノート



自然・植物・生き物



みんなのジャムボード
を見てみよう！①



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを確認する

②冬の季語を集める

ジャムボードを活用し、共有する。

③季語を使って、俳句をつくる（☆）…①

ジャムボード、季語集（プリント）自分のノートから自分に合ったものを活用し俳句を考える。

④振り返る。

▷配慮事項

- ・教科書に載っている言葉は学級で確認する。
- ・個人で季語を集める際には、イメージマップを使い言葉がつながるよう促す。

▷協働的な学び

自分1人ではなかなか考えることが難しい児童には、友達が書いたジャムボードを参考にし、活用する。



自分に合った解決方法を選ぶ

高①

C F

- ・自分の課題に合った練習をすることで、身に付けたい動きを高めることができる。
- ・撮影した動画を見ることで、得点につながる「良い動き」を見つけることができる。

- ㊦ 自分の課題に合った練習を行おう。
- ㊩ 動画を見て良い動きを見つけよう。

シュート練習をしよう㊦
これはナイスだね㊩



▷ 学年・教科・単元

第6学年

体育科「バスケットボール」

▷ 教材

- ・タブレット（ジャムボード、カメラ）
- ・バスケットボール
- ・バスケットゴール
- ・マーカー
- ・ホワイトボード
- ・ワークシート
- ・ゼッケン

得点を取るために大切な動き 8チーム

周りを見る

近づく

ゴールに近い人にパスを繋いでシュート

相手のいないところに動いてパスをもらう

積極的にボールを取りに行く

6年 バスケットボール はじめのルール

- 【約束】 ・試合前後の挨拶を必ず行う ・全員が楽しむ
- 【全休】 ・試合は4人が出場する（試合に出ていないときは撮影する）
- 【コート】 ・コートで試合
- 【試合時間】 ・試合時間は6分（2分、2分、2分） ・平等に試合に出る
- 【得点】 ・ゴールに入ったら2点 ・リングに当たったら1点
- 【ファウル】 ・おす ・ぶつかる（故意なプレー） ・ボールを持っている人からボールを奪う
- 【ドリブル】 ・両手で ・パスを2回以上してからのシュート
- 【その他】 ・開始のボールはじゃんけん決めて決める（両人からスタート）

ドッジボール投げなし

審判チームが撮影する

ボールをすつとらつのは禁止

バスを2回以上してからのシュート

審判2人

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ①準備運動
- ②ゲームにつながる運動（☆）・・・㊦
ドリブル、シュート、パスから児童が選ぶ。
- ③めあてを立てる
- ④ゲーム
- ⑤得点につながる動きを話し合う（☆）・・・㊩
試合中には見つけられなかった「良い動き」を動画から探して見つける。
- ⑥振り返り
- ⑦整理運動、片付け

▷ 配慮事項

- ・練習場所が混雑しないよう、ある程度人数を把握しておく必要がある。
- ・試合を撮影する際はボールの動きだけでなく、コート全体が映るように撮影させる。

▷ 協働的な学び

自分のチームだけでなく、相手チームからも「良い動き」を見つける。



自分に合った表現方法を選ぶ

高④

CFK

- ・児童が例文や要素の中から表したい表現を選択し、自力解決に取り組むことができる。
- ・ジャムボードを用いて友達と情報交換を行うことにより、多様な視点や知識を得ることができる。

- ⑦聴き取ったことと感じ取ったことをジャムボードに入力しよう。
- ①友達の意見を見て、良いなと思った意見にスタンプを押そう。

聴き取ったことと感じ取ったことをタブレットに記入しよう⑦

▷
1

時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを確認

②「ハンガリー舞曲第5番」を鑑賞

③聴き取ったことと感じ取ったことを曲の構成に沿ってジャムボードに記入する
(☆)・・・⑦

ジャムボードに張り付けた例文や、音楽の要素から、表したい表現を探す。

④ジャムボードを見て聴き取ったことと感じ取ったことを共有する・・・①

⑤クラス全体の意見をまとめ、フォームで振り返る。

▷配慮事項

聴き取ったことと感じ取ったことを書き出していくことが難しい児童のために、より多くの例文や各要素の説明などを、ジャムボード内に示し、自分のタイミングでいつでも見られるよう配慮する。

▷協働的な学び

自分とは違う考えをもった友だちの意見に賛同したり、その意見に対して考えたことを発表したりする。



▷学年・教科・単元

第6学年

音楽科「ハンガリー舞曲第5番」
／ブ람ス作曲

▷教材

- ・タブレット
1スライド（鑑賞用）
2ジャムボード（記入用）
3フォーム（ふり返り）
- ・音楽科の教科書



自分に合った解決方法を選ぶ

高①

CHF

- ・児童が自分のイメージに合う用具や材料を選択し、自力解決に取り組むことができる。
- ・友達と作品について共有することで、多様な視点から自己の作品を見つめ、表現を深めることができる。

- ② 様々な用具や材料の中から自分のイメージする花に合うものを選ぼう。
- ① 友達の作品を見て表現の工夫について学び、自分の作品に生かそう。

スクリーンの写真を見て、友達の表現のよさを学ぼう。①



▷学年・教科・単元

第6学年

図画工作科「心にさく花」

▷教材

- ・タブレット
- ・ワークシート
- ・ローラー、ぼかし網等の用具
- ・スポンジ、ペットボトルのふた等の材料
- ・絵の具、コンテ等の画材



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる。

②多様な用具や材料の中から表現意図に合うものを選ぶ。・・・②

何を使ってどのように描くか、これまでの経験を生かしながら、用具や材料を選ぶ。

③スクリーンに映し出された友達の作品の写真を見て、表現の工夫について学ぶ。・・・①

必要に応じてタブレットで表現に必要な情報を集めたり、確認したりする。

④自分の表現を深める。

▷配慮事項

自分の思いや考えを大切にしながら必要に応じてタブレットを使用し、表現がさらに深まるようにする。

▷協働的な学び

表現の仕方を共有することで自分とは違う表現に触れ、自己の作品に生かす。



自分に合った解決方法を選ぶ

低①

C L

- ・児童が自分の興味・関心に沿って、自力解決に取り組むことができる。
- ・興味・関心に沿った学習内容にすることで、繰り返し学習のポイントに触れ、活用することができる。

- ア 言葉集めをしよう。
イ 学習した平仮名を書こう。

自分のやりやすい方法で
平仮名の練習をしてみよう①



▷学年・教科・単元

特別支援学級あおぞら 第1学年
国語科
「平仮名を書いてみよう」

▷教材

- ・平仮名カード
- ・絵カード
- ・ワークシート



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる。

②見通しを持つ。

学習する平仮名を使った言葉を集める。

(ア)

書き順を確認する。

③学習した平仮名を練習する。(☆)…①

自分のやりやすい方法を選んで平仮名を
練習する(イ)

ワークシートのお手本を見て書く。

蛍光ペンでお手本を書き、なぞり書きする。

(なぞり書きする量も自分で調整する。)

④振り返りをする。

▷配慮事項

- ・ワークシートに書く場面の前に全体でも確認するが、個別にも練習する方法を確認する。

▷協働的な学び

- ・友達の発表を聞いたり教師から提示したりして語彙を増やす。



自分にあった課題（ゴール）を選ぶ

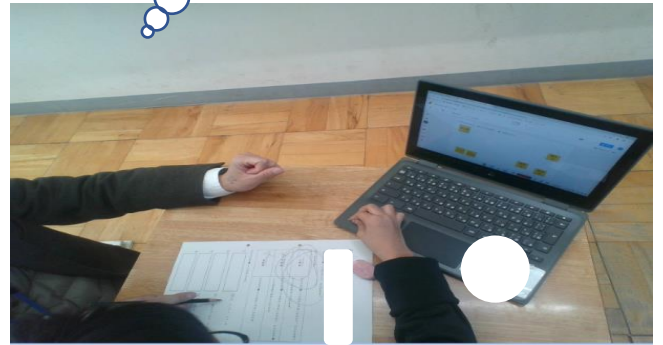
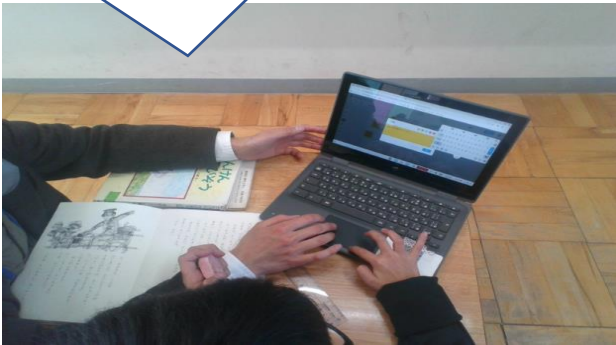
低①

CEF

- ・児童が自分に合ったゴールを選択することで、自力解決に取り組むことができる。

- ア 今日自分のゴールを決めよう。
イ ゴールを達成するために自分に合った方法を選ぼう

言葉集めはタブレット、作文するのは紙のプリントにしよう。①



▷ 学年・教科・単元

特別支援学級たいよう 第2学年
国語科
「かたかなで書くことば」

▷ 教材

- ・国語科の教科書
- ・タブレット
- ・ワークシート
- ・ジャムボード

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ①めあてを立てる
- ②今日のゴールを決める・・・ア
- ③かたかなで書く言葉を集める（☆）・・・イ
- ④集めた言葉を分類する（☆）
- ⑤かたかなで書く言葉を使って作文する（☆）
- ⑥振り返り

▷ 配慮事項

- ・書字の困難さがある児童に対しては、音声入力を活用する。

自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ

低①

B C

- ・児童が自分の興味・関心に沿って、自力解決に取り組むことができる。
- ・興味・関心に沿った学習内容にすることで、繰り返し学習のポイントに触れ、活用することができる。

- ㊦ 紹介する教室を決めよう。
 ㊧ 教室に合ったワークシートでメモを作ろう。

ワークシートを選ぼう。①



▷ 学年・教科・単元

特別支援学級あおぞら 第2学年
 国語科

「はをへをつかおう（光村1年国語）」

▷ 教材

- ・国語科の教科書
- ・学校探検で見た教室や、見つけたものの写真
- ・ワークシート

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる。

②見通しを持つ。

学校探検クイズの例を聞いて、クイズに答える。

③クイズのメモ作りをする。（☆）…㊦㊧

クイズにしたい教室に合わせたワークシートを選んでメモを書く。

④メモを基にクイズの文作りをする。

▷ 配慮事項

教科書の内容について、十分演習した上で学校探検と関連づけてクイズ作りに繋げる。

▷ 協働的な学び

2年生が作ったクイズの発表の場として、あおぞら1・2年生でクイズ大会をする。



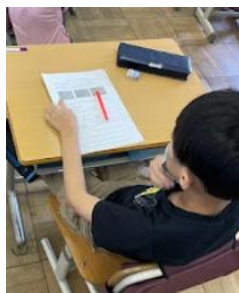
自分に合った表現方法を選ぶ

低①

C G

- ・児童が自分に合った表現方法を選択することで、学習する姿勢を維持することができる。
- ・自分の考えを、多様な方法で表現できるようにすることで、表現しやすい環境を整える。

- ㊦ 自分の考えを表そう。
① 考えた意見を、友達に発表しよう。



ジャムボードに入力して
みようかな㊦



▷学年・教科・単元

特別支援学級あおぞら 第3学年
道徳科「とうもろこしができた」
公平、公正

▷教材

- ・明治図書
『考える道徳を創る 小学校 新モラルジレンマ教材と授業展開』
- ・ワークシート
- ・タブレット
(ジャムボード、スライド)



▷1時間の流れ(☆自力解決場面)

- ① 今日のお話のイメージをもつ。
- ② 登場人物の気持ちを考える。
- ③ 中心発問を考える(☆)・・・㊦

ジャムボードには、とうもろこしの絵を貼って置き、それを動かしたり、付箋に考えを書いたりして意見をまとめる。

- ④ 友達と意見の交流をする。(☆)・・・①
- ジャムボードに入力したり、プリントに書いたりしたことを、発表し合う。

- ⑤ クラスで出た意見をまとめ、振り返る。

▷配慮事項

- ・お話のイメージがもてるように、導入で写真など視覚的に見て分かる資料の提示を行う。

▷協働的な学び

- ・友達の意見や考えが見えることをきっかけにして、話し合いや意見交換を行い、自分の考えを深める。



自分に合った課題（めあて）を選ぶ

高①

J M

- ・児童が自分の課題を意識することができる。
- ・児童が掲示されたアイテムカードを視覚的にとらえることで、自分のめあてを意識できる。

- ㊦ 答えを見せる時はタイミングを合わせましょう。
- ㊧ 答えを書いても静かに待ちましょう。

友達と同じ答えになる

かな…㊦

▷ 学年・教科・単元

特別支援学級たいよう 第4学年
自立活動「以心伝心」

▷ 教材

- ・ワークシート
- ・アイテムカード（ソーシャルスキルポスター）

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ① 1時間の流れを知る。
- ② ONE TO FIVE
- ③ かぶっちゃやーよ
- ④ 全体のめあての確認
- ⑤ 個々のめあての確認
- ⑥ 以心伝心（☆）…㊦
- ⑦ 振り返り



▷ 配慮事項

- ・1時間の流れを授業の始めに提示する。
- ・一人一人が自分の課題について意識できるよう、「全体のめあて」と「自分のめあて」を設定する。

▷ 協働的な学び

- ・友達と同じ答えになるように考える活動を通して、友達との一体感を味わう。



自分に合った解決方法を選ぶ

高①

C J

- ・児童が自分に合った学習方法を選択することで、学習する姿勢を維持することができる。
- ・友達の学習方法や意見が見えることで、互いを認め合い、学び合うことができる。

- ア 自分の名前を動かして、気持ちを表そう。
イ ワークシートかタブレットか選ぼう。



▷学年・教科・単元

特別支援学級たいよう 第5学年
道徳科「折り紙大使～加瀬三郎」
国際理解、国際親善

▷教材

- ・道徳科の教科書
- ・ワークシート
- ・折り紙
- ・タブレット
(スライド、ジャムボード、ドキュメント)



自分の意見を
まとめよう
①



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ①日本文化や国際親善について話し合う。
- ②「折り紙大使」を読んで、補助発問に答える（☆）・・・⑦

発問に対して、自分の名札を動かして考えを伝える。

- ③中心発問に答える（☆）・・・⑧

タブレット、ワークシートから自分に合った学習方法を選んで、自分の意見をまとめる。

- ④ふりかえり

これから自分がどんな日本文化を外国の人々に伝え、どのような関係を築いていくかまとめて、発表する。

▷配慮事項

- ・45分間授業に姿勢を向けさせるために、自分で選んで決める場面を意図的に増やす。適切な選択ができない場面は、途中で学習方法を変更させ、学習を進める。

▷協働的な学び

- ・友達の意見や考えが見えることをきっかけにして、話し合いや意見交換を行い、自分の考えを深める。



自分に合った解決方法（ヒント）を選ぶ

高①

E F

- ・自分のレベルに合ったものを選べるので、安心して課題に取り組むことができる。
- ・スモールステップで臨める為、課題を克服しやすい。

②タブレットのヒントを参考に課題に取り組もう。

①自分の取り組みたい場を選び、課題に取り組もう。



▷学年・教科・単元

特別支援学級あおぞら 第4・5・6学年
体育科「多様な動きをつくる運動」

▷教材

- ・ボール
- ・タブレット
- ・跳び箱（タブレット置き場）

②なげ上げて、ゆかにタッチしてとる。



うごきのポイント

ボールから目をはなさない
タッチするときは、**パツ**とうごく

タブレットのヒントを参考にしてみようかな。(㊦)



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを確認

②準備運動

③基本の動き（☆）㊦

2人1組で交代しながら行う。動画で動きを確認したり、友達のアドバイスを聞いたりしながら課題に取り組む。

④発展の動き（☆）①

自分のチャレンジしたい場を選んで行う。

⑤整理運動

▷配慮事項

- ・ボールを投げている付近でタブレットを使用するため、使用する場所を指定し、故障に繋がらないようにする。
- ・「発展の動き」では、回数等に目を向けさせ、より高い目標を目指せるようにする。

▷協働的な学び

2人1組で交代して活動し、活動を見合いながらアドバイスを送れるようにする。



自分に合った解決方法を選ぶ

高①②

CF

- ・自分から課題に取り組むことができる。
- ・自分に合った方法で解くことができる。

㊦ 1時間の流れを把握し、見通しをもとう。

㊦ 自分に合った教材を選ぼう。

1メモリは、いくつにしようかな!? ㊦

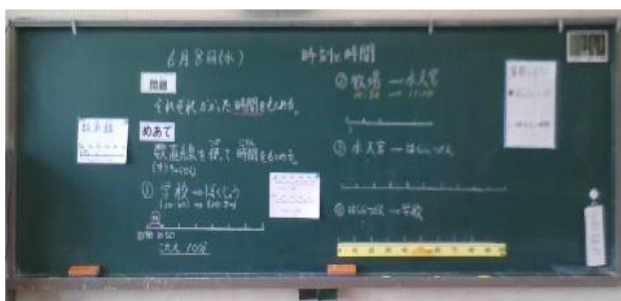


▷ 学年・教科・単元

特別支援学級あおぞら 第5・6学年
算数科「時刻と時間」

▷ 教材

- ・プリント
- ・時計の模型



▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ① 1時間の流れを知る。(☆)・・・㊦
- ② 課題を解くための教材を選ぶ(☆)・・・㊦
- ③ 課題に取り組む
- ④ 学びあい
- ⑤ まとめ
- ⑥ 練習問題
- ⑦ 振り返り

▷ 配慮事項

- ・ 1時間の流れを授業の始めに提示する。
- ・ 課題を解くために、教材を複数用意し、選択させる。
- ・ 1時間の流れが分かるプリントを活用

▷ 協働的な学び

教師が解き方を提示することで、児童もパターン化し、解くことができる。



自分に合った解決方法を選ぶ

高①

C E

- ・児童が自分に合った方法で、自力解決に取り組むことができる。
- ・「点」「はね」の書き方を知ることができる。

- ㊦はじめに、1枚ずつ書こう。
 ㊧次に、自分に合ったプリントを選んで練習しよう。

自分は線の太さや字の形を練習したいから「かご書き」にしよう。㊧

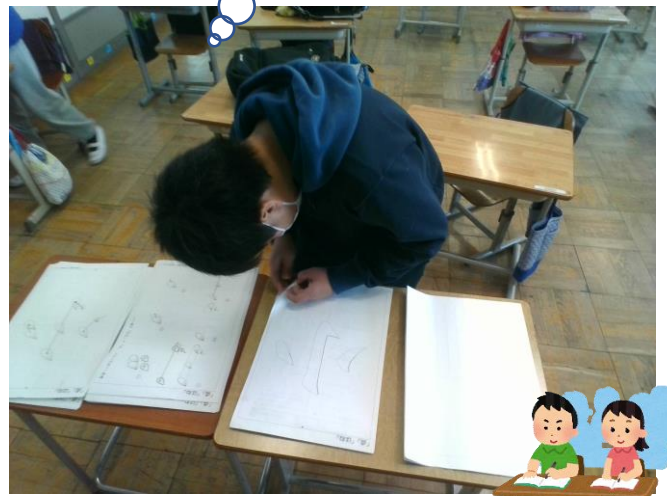


▷学年・教科・単元

特別支援学級あおぞら 第5・6学年
 国語科 書写「点とはね」

▷教材

- ・練習用紙（4種類）
 ほね書き…筆の向き、力
 かご書き…線の太さ
 部分練習…「点」「はね」
 白紙（裏紙）…リハーサル



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあてを立てる

②今日の流れを決める

③字のポイントを知る・・・㊦

字のポイントを意識して、練習用紙を1枚ずつ書く。

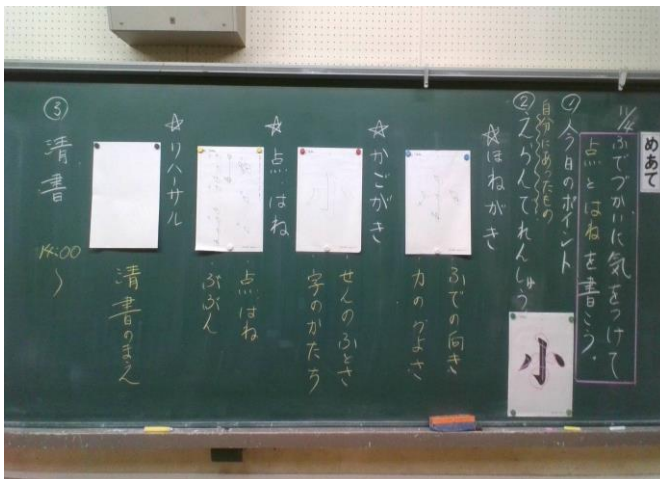
④練習する（☆）・・・㊧

4種類の練習用紙から、自分の課題に合ったものを選んで練習する。

⑤清書する。

▷配慮事項

- ・終わりの時間を示し、見通しをもって練習に取り組めるようにする。
- ・4種類の練習用紙について、どんなところを意識して練習するとよいか確認し、板書しておく。



自分に合った課題（目標）を選ぶ

低①

CE

- 自分のゴールを自分で決めることによって、より意欲的に学習課題に取り組むことができる。
- 目標を達成するためにはどうしたら良いかを具体的に考えることができる。

- ア 今日自分のゴール（目標）を決めよう。
- イ どうしたら上手くいくか考えよう。

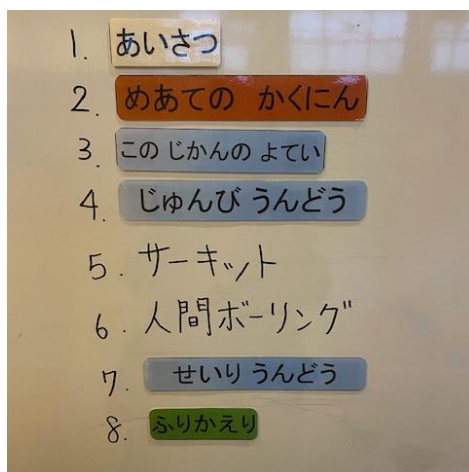


▷学年・教科・単元

特別支援教室きらり 第2・3学年
自立活動「人間ボウリング」

▷教材

- スクーターボード
- ペットボトル



ぼくは右のコースを
狙うぞ ア



▷この活動の流れ（☆自力解決場面）

①めあて・ルールの確認

②目標の設定（☆）・・・ア

倒したい本数や、進むコースを決める

③ゲームをする（☆）・・・イ

どうしたら目標を達成できるか考えながら滑る

友達が滑るのを見て、よいところを見つける（〇×でジャッジする）

④ふり返り

▷配慮事項

- 怪我防止のため、ゲームの前にスクーターボードの正しい乗り方を確認する。
- 勝敗に弱い児童もいるので、ゲームの前に最後まで取り組むことを確認する。

▷協働的な学び

友達の滑りを見て、良い滑りかどうかをジャッジする活動を取り入れ、自分の滑りにも活かせるようにする。



自分に合った解決方法（ワークシート）を選ぶ

低①

C L

・児童が自分に合った方法や興味関心に沿って、自力解決に取り組むことができる。

- ア 自分がチャレンジしてみたいワークシートを選んで取り組もう。
 イ 自分に合ったワークシートを選んで書こう。

自分に合ったワークシートを選ぼう①



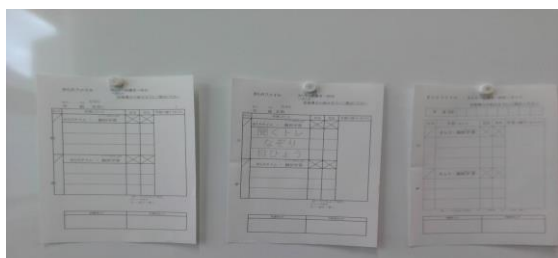
▷学年・教科・単元

特別支援教室きらり 第3学年
 自立活動「3学期の目標を書こう」他

▷教材

・ワークシート

- ①本時の活動内容や評価を書くもの
- ②なぞり・運筆用
- ③3学期の目標を書くためのもの
 （マス目のあるもの・罫線のあるもの
 枠のみのもの）
- ④活動を早く終えた児童に取り組ませるもの



▷1時間の流れ（☆自力解決場面）

- ①めあてを確認する
- ②活動内容をファイルに記入する
- ③丁寧になぞる（☆）・・・ア

○種類のワークシートから、丁寧になぞれるものを選んでなぞる。

- ④3学期の目標を書く（☆）・・・イ

3種類のワークシートから、自分に合ったワークシートを選んで書く。

- ⑤学習のふり返り

▷配慮事項

- ・時間がかかっても構わないので、丁寧に書くよう指導する。
- ・45分間で終わらなければ、次時でも取り組めるよう柔軟に対応する。
- ・視写が難しいようであれば、教師がマス目に書いた字を写させる支援をする。
- ・早く終わった児童に取り組ませるワークシートを用意する。

自分に合った課題を選ぶ

高①

CE

- ・課題意識をもって活動に取り組むことで、子供の主体的な学びとなる。

- ㊦ 今日、自分が意識することを決めよう。
 ㊩ 動画を見て、良かったところと次回がんばりたいところを振り返ろう。

今日は「すらすら」を意識しようかな。



▷ 学年・教科・単元

特別支援教室きらり 第4学年
 自立活動
 「上手に音読しよう」他

▷ 教材

- ・国語科の教科書
- ・タブレット（カメラ）

▷ 1時間の流れ（☆自力解決場面）

①めあての確認

②漢字の学習

③音読の学習（☆）・・・(㊦) (㊩)

音読をする時のポイントを確認する。

「すらすら」「はきはき」「正しく」

録音した音読を聞いて特に意識するポイントを決める。

音読の練習をする。

練習語に録音した自分の音読を聞いて振り返る。

④振り返り

▷ 配慮事項

子供が見通しをもつことができるよう、ポイントを言葉で確認するだけでなく、よい音読の見本を、教師が実際に聞かせる。

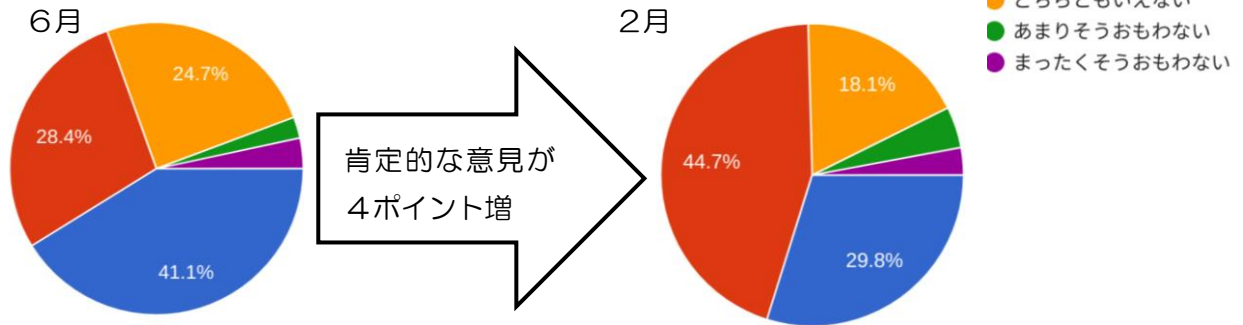


4 研究の成果

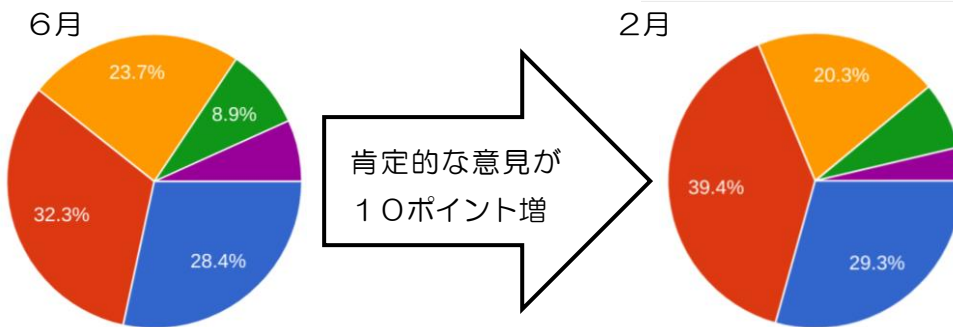
①「学習の個性化」につながる児童の変容（児童へのアンケート調査）

低学年（1～3年）

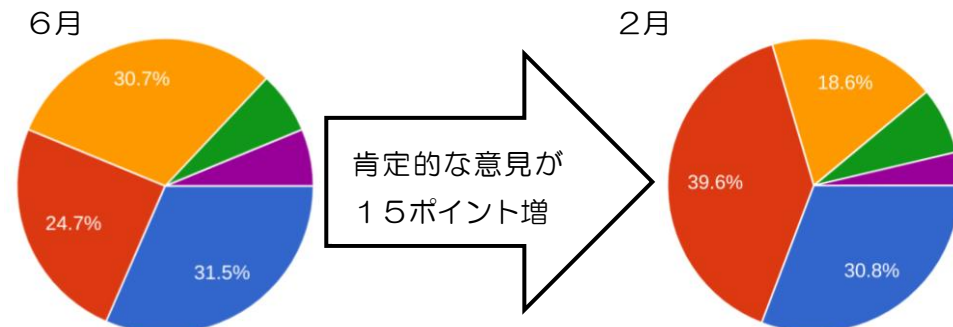
①自分にあった方法や学びたい方法で学習している。



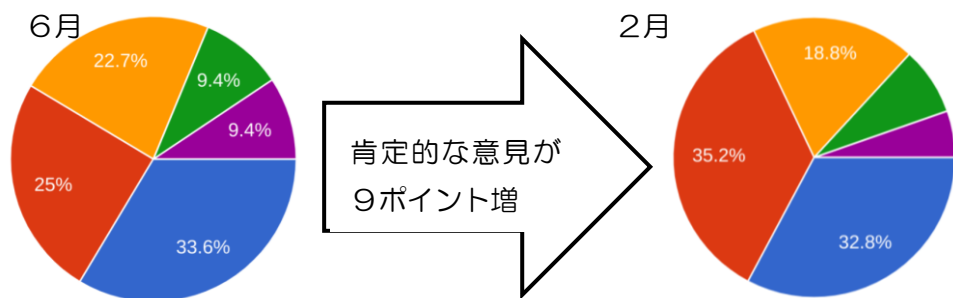
②学習が難しいとき、別の方法を考えて学習を進めている。



③自分にあった方法で、調べたことをまとめている。



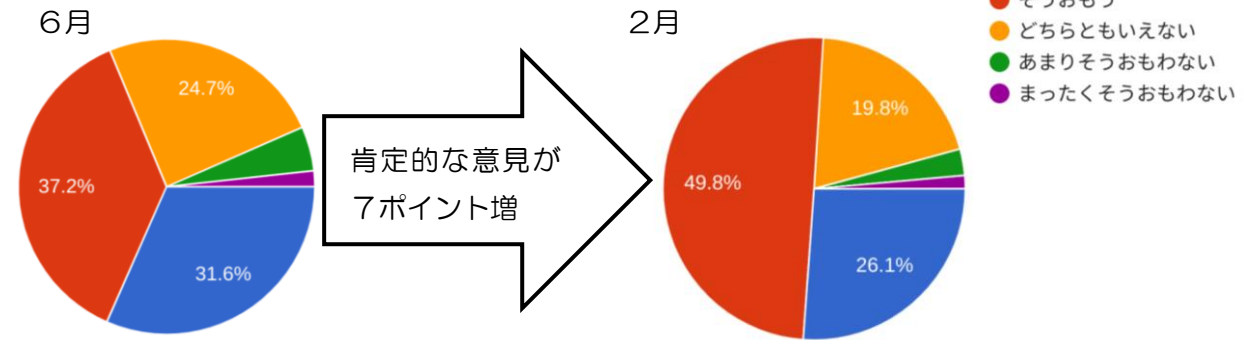
④自分が伝えやすい方法で、調べたことを発表している。



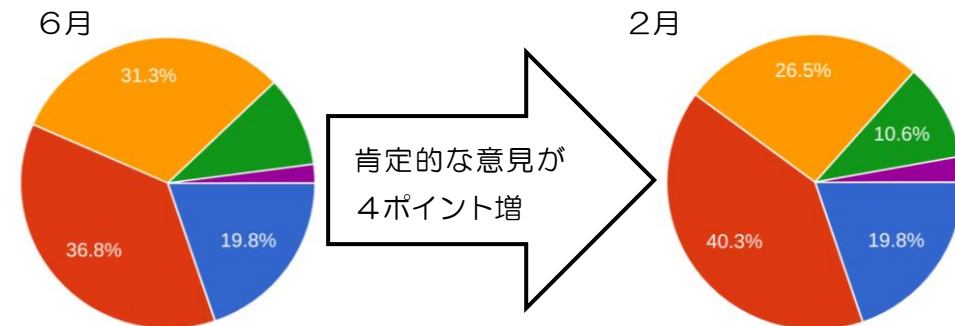
全体…否定的な割合に大きな変化は見られなかった。

高学年（4～6年）

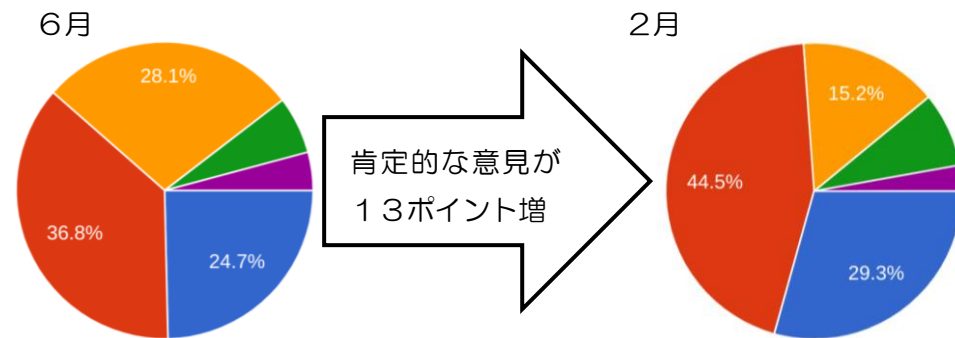
①自分にあつた方法や学びたい方法で学習している。



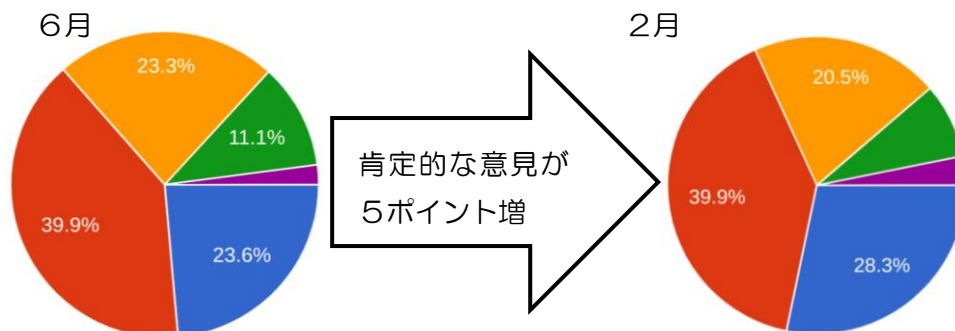
②学習が難しいとき、別の方法を考えて学習を進めている。



③自分にあつた方法で、調べたことをまとめている。



④自分が伝えやすい方法で、調べたことを発表している。



全体…否定的な割合に大きな変化は見られなかった。



②「指導の個別化」につながる、教員のふりかえり

A 学習の課題に合わせて、ヒントカードの使い方が選べるのっていいよね！！

B みんながわかるような板書の工夫（具体物や写真、文字）ができるるといいよね！！

C 子供が選べる選択肢を増やすことが大事だね！！



でも、子供が自己理解して選択肢を選ぶことが難しいときもあるよね…

D 上の学年に上がった時にできるといいよね！！

F 必要に応じて ICT を使うといいんだね！！

E 子どもの習熟度に合わせて選ぶ経験を重ねることで、だんだん自分に合った方法が身につくそう！



H 学びのバイキング方式を授業に取り入れていけるといいね！！

G 魔法の言葉「～してもいいよ。」を使っていこう！！

I 単元全体を見通して子供が選択肢を用意し、その中からバリエーションの精選をできるようにした！！

J 子供にハンドルを渡す瞬間を用意できるといいね！！

K 事前に子供の学びの躰きを把握しておくことが大事だね！！

L 実態把握が大切だよね！！

N そのためには、繰り返しの言葉がけが大切になってくるよね！！

M 振り返りを充実させ、自己の到達状況を把握できるように指導すると思う！！



O 経験の貯金が大切！



5 研究のまとめ

(1)【第1回】6月15日 研究全体会記録（特別支援学級の実践から）

①協議 「研究の指針に沿って、授業記録を図式化してみる」

- 本日の授業について
- これまでの授業実践記録について(各グループの実践から1つを選ぶ)
- 全体共有

各チームの様子、気づきをチームリーダーから共有 ※詳細は、各グループの記録を参照

②指導・講評 講師：清瀬小 主幹教諭 福嶋誠 先生

○どの学級でも行う「特別支援教育」

- 学習指導要領上の位置付け
- 「特別な配慮を必要とする児童」への指導
- 合理的配慮

○ユニバーサルデザインの考えに基づく授業の例

- 予め、授業の流れを示しておく
- 板書を色分けして掲示
- 焦点化、共有化（→協働的な学びにつながる）、視覚化（画像、動画）

○特別な配慮を必要とする児童

- 配慮が必要な児童の情報をクラス全体に共有。

「できない」→「苦手」。本人と事前に話をしておく必要あり。

- 席の配慮(指導者の近くに作る。)
 - サポートしてくれる児童は、後ろに配置。隣は、同じレベルの児童にする。周りを固める。
- 教員の負担軽減にもつながる。

- 週一で整理整頓を放課後に設定し、1対1で話す機会をつくる。
- 一つ一つの行動について評価する。
- 実態把握

個として見る 結果ではなく過程を見る 小さいことでも褒める 自己肯定感を高める

- 進路の考え方

③学校長より

- 同じ方向性をもって研究をすすめることが大切
- 個別最適な学び 「学習者主体の授業をつくる」
- 興味関心を育てる。
- 学習の個性化
- どの授業で個別最適化ができるかを考えていく。

(2)【第2回】10月13日 研究全体会記録（ICT活用と「個別最適な学び」）

①協議

【国語】

- ・タブレットで検索し、ジャムボードにまとめようとしている。
- ・意欲や能力に合わせたレベルを選びワークシート、ジャムボードに取り組むことができた。
- ・友達が近くにいたので相談しやすい学習形態でよかった。
- ・ゴール設定に対してより見通せるようにできるとよかった。
- ・ゴールやワークシートを選択するための自己理解と選択したゴールやワークシートとの整合性が難しい。整合性の合わない児童への支援が必要だと感じた。

【算数】

- ・ラウンドタイムを行い、良い意見として友だちの意見を発見できた。
- ・自分の意見を書いてから、タブレットを開くことができた。
- ・ホワイトボードに自分の考えを書くことができた。
- ・タブレットのヒントの使い方、答え方がわからない児童がいた。
- ・早く解いた児童への対応がもっとあるとよかった。

【道徳】

- ・自分の考えをスムーズに選ぶことができた。
- ・選択肢の中から答えを選ぶことができ、記述式についても、教師の支援を受けたり、タブレットの入力を手書きモードに変えたりすることで解答することができた。
- ・話し合いの場面で自分の考えを言えない児童がいたので、1対1での役割演技などにすればできたのではないかと感じた。
- ・入力した自由記述の共有方法や記述、話し合いに対しての支援方法に課題を感じた。
- ・それぞれの考えを視覚化できるとよかった。

②指導・講評 講師：練馬区立石神井台小学校 主任教諭 二川 佳祐 先生

○今日の授業について

【国語】

- ・間のとり方、テンポの良さ、掲示のよさ
- ・「自己決定」の言葉が浮かんだ
- ・場・題材・方法・ゴール等、沢山の選択肢があった→個別最適化がされていた
- ・繰り返しやっているからできる、先生の引き出しが多い
- ・大きなゴールの必然感 ショーンに手紙を書くことが児童におちていたか
- ・まとめ→一人一人のまとめと全体のまとめが合致していたか疑問

【算数】

- ・ICTを使って支援の選択肢が増やすことができる
- ・アナログとデジタルの具体と抽象→なんでも児童に選択させる必要はない
→今日だったらデジタルは必要ないのではないかと感じた
- ・早く終わった児童への対応→問題づくり、ジャムボードやドリルパークなど

【道徳】

- ICTを使って考えを見える化し、児童全員の参加を促す
- 動作化 身体を使うことの大切さ
- 「学び」と「勉強」の違い
 - 「個別最適な学び」とは言うが、「個別最適な勉強」とは言わない
勉強→学びにしていく
 - 授業”観”をかえる
 - 今までは先生が教える→子供が学びとる授業（教師はファシリテーター）
 - 学びは掴み取るもの→勉強は「やらされている」感がある
- 個別最適について
 - 先生の引き出しの数＝子供の選択肢の数
 - 選べるが増えていく＝個別最適になっていく
- 大事にしている考えについて
 - アウトプットの個別化
→そこから選ばせる 選択肢があるから自分で選べる ＝個別最適化（例）CANVA など
 - 火を付ける導入、明確な相手意識と必然性のあるゴール、任せて待ってみる、振り返りを価値付ける。

(3)【第3回】11月30日 研究全体会記録（特別支援教育と「個別最適な学び」）

①協議

【国語】

- ・レベル（めあて）を変更できることで、安心感につながっていた。
- ・ゴールを明確にしたことにより、そこを意識して活動できていた。
- ・途中でレベルを変えられることで、レベルアップを目指せる児童もいた。

【算数】

- ・ブロック操作をしてブロック図を書くなど、児童が解決方法を選択して考えていた。
- ・ラウンドタイムで、発言しない児童も説明したり、友達の考えを聞いたりできた。
- ・自分と違う考えの児童に質問する児童も見られた。

【理科】

- ・既習事項の掲示が効果的であった。
- ・板書、指示が分かりやすかった。
- ・掲示物を見てもわからない児童に対しての手だて→話型を用意する、近くの児童と相談する など
- ・掲示物等を見に行くことに抵抗のある児童に対しての手だて→手本に資料がまとまっている

【自立活動】

- ・授業の流れが可視化されている ホワイトボード
- ・サーキット 挑戦する量やレベルが児童が調整できるように設定している。
- ・ハンドサインで友達の良かったところを「真似っこ」する→認め合う活動
- ・片付けのやりたいところをやる児童について→指示があるとよかった。
- ・個別のアドバイス、励みになる言葉がけで、チャレンジしようと思える。

【道徳】

- ・心メーターの活用について
全員が気持ちを心メーターで表現できていた。それを話し合いでも使っていた。
ワークシートに書くこともできた。
児童それぞれの心情の変化が残らない
→自分の心メーターがワークシートなどに残るようにしてもよい
- ・写真の活用は、協力している場面の理解が深められた。

②指導・講評 講師：練馬区教育委員会 指導主事 窪 直樹先生

○学習指導案、研究資料を通して

「個別最適な学び」の具現化は、まさに今構内研究で取り組むべきテーマである。

特別支援教育の視点をふまえ、手だては様々なものが考えられる。

実現可能なことを一つずつ、確実に取り組むことが大切。

○学び方について

・構成主義

認知的構成主義（自分）

「前にやった、〇〇に似ているな」

社会的構成主義（複数人）

「ああ、そういうことか！」

○児童の知識の身に付け方 児童の頭のなかで組み立てる。

・授業の流れ

「目標を達成するために」を大切にする。

・学習指導要領における特別支援教育の視点をふまえる。

一人一人の困難さを把握し、目標を達成できるよう具体的な手だてを考える。

○個別最適な学びとは

・個に応じた指導

学習のめあてに向かって、子供自身にとって学習が最適となるよう調整すること

選択ができるようになること

○今日の授業について

【算数】

・ブロック操作（具体的）から、図（抽象的）になっていく学習

・操作するか、図にするか、選択して学習ができるようになっていた。

【自立活動】

・個々の課題に対して、先生たちが個別の声掛けができていた。

・振り返りで、考えた発言が見られた。

・児童の経験を想起させる発問。

【道徳】

・児童の引き付け、導入がよかった。

・心メーターで、児童の参加、気持ちの共有をすることができた。

【理科】

・掲示物の有効性。既習事項をいつでも振り返ることができる。

【国語】

・ゴールを3つ（A、B、C）用意した。

Cを選んだ児童も、振り返りでいい評価にできていた。

・漢字を、拡大やタブレットなど、様々な方法で漢字を書くことができた。

○授業について

・教師による「指導中心」から、自動による「学び中心」へ

・「教えたか」から、児童が「学べたか」へ

・ベースは同じでも児童が選択できる「オプション」のある授業 「～してもいいよ」

・学びのバイキング方式

・協働的な学び

○学習指導ガイドブックの作成

・指導の個別化（教師視点）は、3「柔軟な課題・時間・教材・答え」の設定

学習の個性化（児童視点）は、1「児童が学習を調整」することを目指す取り組み

(4) 研究に携わった教員

	校長 谷口 雄鷹	副校長 蜂須賀 健太	研究主任 川邊 裕作
1年	村野 彩子	○豊田 ともえ	天野 湊太 佐々木 真由
2年	富田 一人	飛弾 勢津子	本宮 佳奈映
3年	尾山 美香	半田 卓 金 竜成	○小野寺 麻美子
4年	寺嶋 大介	今村 多恵子	○藤丸 知彦
5年	○白石 千恵	水戸 大貴	眞下 知也
6年	田中 悠太	松本 恵	○古舘 祐汰
あおぞら学級	氷室 泰子	北林 香	○鈴木 栞里 永井 陽平
	◎川邊 裕作	福嶋 誠	
たいよう学級	○宮脇 真美	東川 琢真	田代 貴大
きらり教室	石場 千亜紀	○杉岡 誠太	横田 夢
専科	今井 優伽	○松本 杏奈	村越 陽和 佐々木 美里
養護	山下 純子	藤崎 南	

◎：研究主任 ○：研究推進委員

6 あとがき

日頃から、本校の教育活動に対しましてご指導とご支援をいただいておりますこと、心からお礼申し上げます。

さて、Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現させるためには、学校現場における ICT の積極的な活用と特別支援教育の視点による授業改善が不可欠との観点から、本校においては、学校経営方針を具現化するため、研究主題を「個別最適な学び」の具現化～清瀬小学習指導ガイドブックの作成を通して～とし、個別最適な学びを引き出す ICT の有効な活用、学習の個別化、学習の個性化をねらいとした特別支援教育の2つの側面から指導法の研究を行って参りました。

ここに、ささやかな内容ではありますが、1年間の研究成果として、個別最適な学びと協働的な学びを実現させるための手法をガイドブックという形でまとめることができました。ご一読の上、ご指導いただければ幸いです。

最後になりましたが、本校の研究のためにお力添えをいただきました練馬区教育委員会指導主事 窪 直樹 先生、練馬区石神井台小学校 主任教諭 二川佳祐 先生、清瀬市教育委員会指導主事 柴崎大輔 先生に厚く御礼申し上げます。

研究で得た指導方法を継続、更新し、児童の学びが一層深まるように、教職員一同がそれぞれの立場で努力していく所存です。今後ともご支援・ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

令和5年3月23日 清瀬市立清瀬小学校 副校長 蜂須賀健太